令和5年度　施策評価シート

１．ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分　野	05　地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施　策	20　循環型社会　－資源循環型社会の構築を一層進めます－		
重点プロジェクト				
主　管　課		市民活動推進部　環境課	評価責任者	本橋　直人
			評価日	令和6年6月1日
関　連　課				
目　　標		３Ｒ行動の更なる浸透により、ごみの排出量を削減し、資源の有効利用を図ります。また、環境センターを環境教育の拠点として、エネルギーや自然環境などを含めた市民の環境意識を高め、エコライフスタイルの定着につなげます。		
施策目標の実現に向けた取組		（１）廃棄物の減量化・再資源化の推進 ○環境教育の情報・活動拠点として環境センターを活用し、市民の環境意識を高めます。 ○廃棄物の発生抑制と減量化に向けた啓発活動を実施します。 ○「もやさないごみ」として排出される使用済小型家電を選別し、レアメタルをリサイクルするなど、限りある資源の有効利用を進めます。 （２）廃棄物の適正処理の推進 ○循環型社会に適したごみ処理システムの構築を行います。 ○事業系一般廃棄物は、事業者責任の原則を踏まえ、排出抑制、分別の徹底、リサイクル化への取組などを事業者に働きかけます。 ○最終処分場の適正な管理を行います。		

２．施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	1人1日当たりの家庭系ごみの排出量（廃棄量）					
		説明	家庭系ごみの排出量（廃棄量）／人口／365日					
		単位	g					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	594.60	589.80	586.20	584.40	581.00	576.10
		実績値	590.00	601.00	606.00	591.00	578.00	550.00
	指標2	指標名	リサイクル率					
		説明	総資源化量／総ごみ排出量※焼却灰リサイクル除く					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	30.10	30.50	30.90	31.30	31.70	32.20
		実績値	21.60	21.20	22.40	22.00	21.60	21.40
	指標3	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標4	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標5	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						

３．施策への投入コスト

（単位：千円）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	1,569,088	1,644,742	1,675,910	1,697,644	1,718,553	1,680,743
	人件費	85,896	101,473	86,532	76,294	73,172	78,231
収入	特定財源	468,697	493,816	546,996	536,979	597,828	663,405
	一般財源	1,186,287	1,252,399	1,215,446	1,236,959	1,193,897	1,095,569

４．評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	廃棄量の減量化	小学4年生への環境センター見学会、環境学習講座を実施し、また、市報、ホームページ、ごみ分別アプリ等による３Ｒの啓発を図った。	環境センター見学会　小学校13校 環境講座の実施　27回 1人1日当たりの家庭系ごみの排出量 平成30年度590g→令和5年度550g	３Ｒ推進事業
取組②	廃棄物の再資源化	小学4年生への環境センター見学会、環境学習講座を実施し、また、市報、ホームページ、ごみ分別アプリ等による３Ｒの啓発を図った。	環境センター見学会　小学校13校 環境講座の実施　27回 リサイクル率 平成30年度21.6%→令和5年度21.4%	３Ｒ推進事業
取組③	事業系一般廃棄物対策	適正な排出が行われているか確認するため、月1回事業系ごみの展開検査を実施した。また、不適正排出事業者へ個別に指導した。	事業系ごみ排出量 令和4年度:5,561.2t 令和5年度:5,619.6t 新型コロナの影響が減少し、人の往来が増加したことにより排出量が増加したと考える。	３Ｒ推進事業
取組④	最終処分場適正管理	最終処分場の適正管理のため月1回最終処分場及び周辺の水質検査を行った。	検査項目は全て基準をクリアし、適正に管理ができている。	３Ｒ推進事業
取組⑤				

５．評価

評価	
指標の達成状況	一般廃棄物処理基本計画の基本理念「未来へつなぐ　資源の環　持続可能なまち　ふじみ野」に基づき、環境学習講座等により、市民や事業者に対し３Ｒの推進を図った。 また、平成26年度から平成30年度まで5年連続で達成している1人1日当たりの家庭系ごみの排出量が少ない市埼玉県内1位は令和元年度3位、令和2年度1位、令和3年度2位、令和4年度5位と上位を維持している。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和5年度事務事業評価シート

１．事務事業の概要

事務事業名		３Ｒ推進事業	前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05　地球環境・自然環境　～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20　循環型社会　－資源循環型社会の構築を一層進めます－		
予算費目		一般会計　04衛生費　01保健衛生費　03環境衛生費		
所管部課		市民活動推進部　環境課	評価責任者	坂本　心太郎
事務事業期間		平成25年～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例及び施行規則、ふじみ野市集団資源回収事業報奨金交付要綱、ふじみ野市生ごみ処理容器設置推進事業実施要綱等		
事務事業の内容	事務事業の目的	ごみの排出量及び焼却ごみ量の減少、リサイクル率の向上を目標として、3Ｒの推進を着実に実行し循環型社会の構築を目指す。一般廃棄物処理基本計画（第3期）に掲げた「みんなで育てる 日本一ごみの少ない美しいまち ふじみ野市」を目指す。		
	事務事業の経緯	ごみ減量化事業、分別推進事業、集団資源回収事業、生ごみ処理容器促進事業、家具等リサイクル推進事業及びごみ・不法投棄苦情等処理事務を平成25年度に統合し「3Ｒ推進事業」とした。		
	事務事業の概要	①3Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の推進を図る。 ②市内小学4年生に対して環境センター見学会を実施する。 ③土曜日や夏休みを中心に3Ｒ、自然環境等の様々な環境学習講座を実施する。 ④小学校、自治会等に対して出前講座を実施する。 ⑤生ごみ処理容器ベランダdeキエーロの普及に努める。 ⑥集団資源回収の推進を図る。 ⑦一般廃棄物（ごみ）、集積所に関する相談に対応する。		
	令和5年度の主な取組	ふじみ野市廃棄物減量等推進審議会及びふじみ野市一般廃棄物処理基本計画市民検討委員会を開催し、ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画（第4期計画）の進捗報告を行う。また、事務事業の概要に加え、今年度は以下に取り組む。 ①市内小学校13校の4年生を対象とした環境センター見学会を実施する。 ②ワンウェイプラスチックの使用削減の推進を図る。 ③土曜日や夏休みを中心に環境学習講座を実施する。 ④火災の危険性があるリチウムイオン電池等の適正排出の周知を図る。 ⑤エコラボフェスタ及び不要品回収キャンペーンを実施する。		

２．事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	5.60	4.53	5.60
		人件費	44,604	35,892	44,369
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.13	0.42	0.42
		人件費	756	833	858
	人件費計		45,360	36,725	45,227
事業費	報酬※		844	921	1,055
	賃金※		0	0	0
	需用費		6,085	8,000	9,578
	委託料		1,148	2,890	1,236
	使用料及び賃借料		1,373	1,373	1,373
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		407	444	591
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		1,979	2,293	2,984
支出合計			56,440	51,813	61,186
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	35
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	525
	一般財源		56,440	51,813	60,626
市民１人あたりの負担コスト(単位：円)			495	454	517

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。
※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

３．事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	環境学習講座参加者数		
	説明	平成28年10月31日のふじみ野市・三芳町環境センターの稼働に合わせて環境学習講座を開始した。講座開催日は、土曜日及び夏休みを中心として実施する。目標値は、第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略施策13に基づき講座に参加した人数（大人、子どもとその保護者）とする。		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1,000	1,000	1,000
	実績値	706	706	
指標 2	指標名	1人1日当たりの生活系ごみの排出量		
	説明	目標値は、ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画（第4期）の数値を採用している。※小数点第1位四捨五入 ※生活系ごみの排出量／人口／365日　※「生活系ごみ」とは、生活から出されるごみ（資源化されるごみを含む）のこと。		
成果	単位	g		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	603	599	595
	実績値	578	550	
指標 3	指標名	リサイクル率		
	説明	総資源化量（資源化量＋集団資源回収量）／総ごみ排出量＋集団資源回収量 目標値は、ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画（第4期）の数値を採用している。※当指標は、焼却灰・飛灰のセメント原料化量含む。		
成果	単位	%		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	29.00	29.20	29.50
	実績値	28.20	28.20	

４．事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	（　）カッコ内は前回数値 1　環境学習講座は、コロナ対策のため例年より募集員数を減らして実 施した。 （1）ふじみ野市・三芳町環境センター見学会　参加人数1,098人（1,077人） 市立13校の小学4年生 （2）環境学習講座　参加人数663人（706人）　実施回数：27回（28回） 2　生ごみ処理容器ベランダｄｅキエーロの普及のため、減量をすすめる会と協働で販売促進会を実施した。また、購入者に対するアフターフォローを行った。 （1）頒布実績 通常16基（11基）　小型24基（43基）　計40基（54基） （2）販売促進活動（キエーロ相談会）4回（3回） 3　集団資源回収の推進のため、新聞紙、ダンボール、生きびん等資源物の回収を行うPTAや自治会等の団体に対し、その回収量に応じた報奨金を交付した。年々回収量が減っていることが課題である。 参加団体 33（34）　回収量 328,288kg（346,587kg）　びん 55本（100本） 4　市内各所で集積所から資源物の持ち去りが多発していることから、資源物持ち去り防止パトロールを17回行った。 5　市報、市HP、チラシ等によるごみ分別アプリの普及を行った。 ごみ分別アプリダウンロード数 日本語版 24,578件（19,975件）　外国語版 498件（420件）　計25,076件（20,395件）

５．今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	1人1日当たりの生活系ごみの排出量少ない市県内上位を維持するため、引き続き環境センター見学会、環境学習講座、出前講座、エコラボフェスタを開催し、ごみの減量及び分別の周知に努める。 また、市報、市ＨＰ、ごみ分別アプリ、チラシ等を最大限活用し、各事務事業の成果が上がるような宣伝に努める。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1．事務事業の概要

事務事業名		エコパ管理運営事業	前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05　地球環境・自然環境　～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20　循環型社会　ー資源循環型社会の構築を一層進めますー		
予算費目		一般会計　04衛生費　01保健衛生費　03環境衛生費		
所管部課		市民活動推進部　環境課（環境センター）	評価責任者	坂本　心太郎
事務事業期間		平成28年10月31日～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立エコパ条例、公衆浴場法、埼玉県プールの安全安心要綱		
事務事業の内容	事務事業の目的	余熱利用施設エコパの適正な管理・運営を図る。		
	事務事業の経緯	平成28年10月31日から新環境センターへ移行した際に、旧広域ごみ処理施設建設室から業務を引継ぎ、平成29年度からエコパに関わる事業として独立の事業となった。		
	事務事業の概要	余熱利用施設エコパの管理・運営のモニタリングの実施をする。		
	令和5年度の主な取組	エコパのモニタリング会議を実施し、管理・運営状況を確認するとともに、モニタリングの機会を通じて連絡・調整を図る。また必要に応じて業務内容の改善、指導を行った。 なお、新型コロナ感染拡大防止のため、令和2年3月1日から令和2年6月8日まで休館し、再開後も受入人数及び利用可能人数を制限して運営していたが、令和3年12月7日から利用人数制限を解除して運営している。		

2．事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.70	0.70
		人件費	3,983	5,547	5,547
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.10
		人件費	528	519	519
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		4,511	6,066	6,066
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		0	0	0
	委託料		149,516	143,492	156,262
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		28,490	0	0
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		776	141	148
支出合計			183,293	149,699	162,476
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	36,015	44,755
		地方債	26,100	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		157,193	113,684	117,721
市民１人あたりの負担コスト(単位：円)			1,377	996	1,003

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。
※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

３．事務事業の指標と実績

指標1	指標名	エコパ有料入館者数		
	説明	利用者が多い年代だけではなく、幅広い年代に利用してもらえるように全ての年代が参加できたり楽しめる環境学習講座、サイクリングデー、メンズ・レディースデー、地域デーなどの優待日を設定するなど、運営業務事業者と協力して開催し、有料入館者（7歳から59歳まで）の増加を図る。（目標値1.7%／年）		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	3,353	3,410	3,467
	実績値	1,583	2,422	
指標2	指標名	事故発生件数		
	説明	本施設は水を使用する場所がメインであり、また利用者も比較的高齢者が多いため、滑りやすい床での転倒事故がないように点検を怠らず管理していくよう運営業務事業者と協力していく。		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	
指標3	指標名	高齢者の施設利用者数		
	説明	高齢者の施設利用者数		
活動	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	159,341	160,000	160,640
	実績値	126,644	137,328	

４．事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	余熱利用施設エコパ運営は平成26年6月よりふじみのエコウェルズ㈱及びクリーン工房に委託しており、管理運営についてモニタリングを実施している。 エコパイベント 6月　船のペーパークラフトを作ろう(17日20人）、ジャガイモ掘り(18日9組27人) 7月　自宅でできる包丁研ぎ(15日10人)、紙漉きでハガキを作ろう(25日28人) 親子でちりめんモンスターゲットだぜ！(27日31人) 夏休み特別企画・お子様タイム(プール・お風呂)(22日36人、23日37人、29日26人、30日58人) 8月　バックヤードツアー(2日11人)、夏の生き物調査(3日26人) 夏休み特別企画・お子様タイム(プール・お風呂) (5日30人、6日48人、12日57人、13日69人、19日47人、20日50人) 10月　バーバリウムを作ろう(7日23人)、ソーラーLEDランプを作ろう(14日15人) 11月　偏光板を使って万華鏡を作ろう(18日17人) 12月　スノードームを作ろう(2日32人) 1月　親子でクラフトバンドの小物入れを作ろう(20日22人) 2月　バスボムを作ろう(17日14組32人) 毎週1回サイクリングデー、メンズレディースデー、地域デー、第3金曜日無料開放デーの設定。 エコパの年間入館者数 平成30年度　216,475人　令和元年度　194,821人(令和2年3月休館)　令和2年度　69,157人(令和2年4月1日から6月8日休館　令和2年6月9日から利用人数制限及び開館時間短縮を実施) 令和3年度　101,405人(引き続き入館制限を実施。令和3年12月7日から利用人数制限を解除) 令和4年度　128,227人　令和5年度　153,597人

５．今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	エコパはふじみ野市・三芳町環境センターから発生する熱エネルギーを有効活用するとともに、市民のふれあい、交流及び健康増進を図る目的で設置された施設であり、平成26年6月1日から令和13年3月31日まで指定管理者に管理運営を委託することになっている。 当初1日あたり200人程度の利用者で設計されているところ、新型コロナ感染症の発生前は1日当たり700人近くの利用者があり現状では1日あたり500人近くの利用者となっている。また、施設の経過から高齢者が利用者の90%以上を占めている。若年層の集客を伸ばす事業やサービスデーの在り方について、モニタリングを通じて指定管理者制度の趣旨を踏まえつつ、指定管理者と検討してゆく。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1．事務事業の概要

事務事業名		最終処分場管理運営事業		前年度の方向性 拡充
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05　地球環境・自然環境　～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20　循環型社会　ー資源循環型社会の構築を一層進めますー		
予算費目		一般会計　04衛生費　02清掃費　02塵芥処理費		
所管部課		市民活動推進部　環境課	評価責任者	坂本　心太郎
事務事業期間		平成5年～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令		
事務事業の内容	事務事業の目的	最終処分場の適正な維持管理を行い、地域住民の安全で快適な住民生活を確保する。		
	事務事業の経緯	旧大井町では、廃棄物の自区内処理の原則に基づき、焼却後の焼却灰を適正に埋立処分をするため、町内に最終処分場を設置し埋立処分を行ってきた。ごみ排出量の減量化及び資源化を推進したことや焼却灰の処理を埋立てからリサイクルに転換したこと、また、最終処分を県外の民間施設に委託したことにより、平成15年度以降は埋立を行っていない。現在は法に基づき施設の維持管理を行っている。		
	事務事業の概要	最終処分場の維持管理については、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令に基づき最終処分場の浸出水、周辺地下水の水質検査等を実施している。最終処分場の浸出水は、三芳町清掃工場に運搬し同工場内にある排水処理施設で処理している。		
	令和5年度の主な取組	【最終処分場水質検査業務の実施】 一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令に基づき最終処分場の浸出水及び周辺地下水の水質検査を実施する。 【最終処分場草刈業務】 最終処分場の適切な管理のため場内及び周囲に生えている草木の伐採を行う。 【最終処分場の廃止】 最終処分場の閉鎖及び廃止に向けて埼玉県や民間事業者と調整を行い、具体的な廃止方法について検討・調査を行う。		

2．事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.80	0.40
		人件費	3,186	6,339	3,170
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		3,186	6,339	3,170
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		78	80	166
	委託料		2,487	7,820	9,875
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		4	69	95
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		0	0	0
支出合計			5,755	14,308	13,306
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		5,755	14,308	13,306
市民１人あたりの負担コスト(単位：円)			50	125	113

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。
※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

３．事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	水質検査の実施回数		
	説明	水質検査を月1回（項目により年1回）行う必要があるためその回数を指標とする。		
活動	単位	回		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	12	12	12
	実績値	12	12	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

４．事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	１　浸出水の処理量　令和5年度 7.43ｔ（令和4年度 18.07ｔ） ２　水質検査概要　＜実施場所4地点及び検査項目数＞ (1) 場内浸出水（浸出水貯留槽）　検査項目数　46項目 （有害物質38項目、生活環境項目7項目、ダイオキシン類） (2) 場外にある観測井戸の地下水　検査項目数　27項目 （有害物質25項目、塩化イオン、電気伝導率） (3) 個人宅井戸の地下水　検査項目数　28項目 （有害物質25項目、塩化イオン、電気伝導率、ダイオキシン類） (4) ㈱清水熔断加工センターの地下水　検査項目数　28項目 （有害物質25項目、塩化イオン、電気伝導率、ダイオキシン類） ３　水質検査の結果 数値に異常はなく良好な状況である。 ４　廃止検討業務 最終処分場の廃止については、「終了届」を埼玉県あてに提出後、法令に定められた廃止基準（ガス、地温、水質）を2年間のモニタリングを実施して満たした場合に「廃止届」を埼玉県あてに提出することができる。令和5年11月30日に「終了届」を提出し、同12月にモニタリングを開始した。

５．今後の方向性

来年度の方向性	理由
縮小	最終処分場廃止モニタリング業務を継続するとともに、廃止後の跡地利用について、具体的な利用方法と概算費用を算出し、２年後（廃止後）の具体的な方向性を決定する。
中長期的方向性	
廃止	

令和5年度事務事業評価シート

1．事務事業の概要

事務事業名		収集運搬事業	前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05　地球環境・自然環境　～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20　循環型社会　ー資源循環型社会の構築を一層進めますー		
予算費目		一般会計　04衛生費　02清掃費　02塵芥処理費		
所管部課		市民活動推進部　環境課	評価責任者	坂本　心太郎
事務事業期間		平成21～	評価日	令和6年6月1日
個別計画根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、資源有効利用促進法、ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	一般廃棄物処理基本計画に従って、区域内の一般廃棄物を適正に処理する。		
	事務事業の経緯	平成28年10月31日よりふじみ野市・三芳町環境センターへ移行したため、平成29年度から上福岡清掃センター時の収集運搬事業の内、一般廃棄物収集運搬、不法投棄及び処理困難物の処分を行う。法令等に基づき、適正な業務の執行が義務付けられている。		
	事務事業の概要	家庭系一般廃棄物の収集及び運搬する業務、不法投棄や動物死体を運搬する業務を、計画的に実施する。		
	令和5年度の主な取組	令和5年度においても各ごみステーションから資源物やごみの収集・運搬を実施した。また不法投棄や動物の死体を運搬する業務も実施した。		

2．事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	2,390	2,377	2,377
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		2,390	2,377	2,377
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		0	0	0
	委託料		719,367	731,427	757,686
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		0	0	0
支出合計			721,757	733,804	760,063
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		721,757	733,804	760,063
市民１人あたりの負担コスト(単位：円)			6,324	6,428	6,476

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。
※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

３．事務事業の指標と実績

指標1	指標名	事故件数		
	説明	家庭系収集作業における事故件数 0（ゼロ）件		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	6	
指標2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

４．事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和5年度　収集運搬事業の実績　（3月末まで） ・収集世帯数は、延べ53,658世帯（年間平均） ・不法投棄の収集回数は、延べ15回 ・動物死体処理（のら猫等）は、延べ146体（平日）、14体（休日） 業務委託先 ・一般廃棄物収集運搬業務　ふじみ野市資源リサイクル協同組合 ・不法投棄処理業務　ふじみ野市資源リサイクル協同組合 ・動物死体処理業務　ふじみ野市資源リサイクル協同組合 業務内容 ・一般廃棄物収集運搬業務は、地域別収集カレンダーで決められた地区の決められた種類の資源物やごみをふじみ野市内の約4,000箇所あるごみステーションから、朝8時より収集を開始し、ふじみ野市・三芳町環境センター及び資源物リサイクル業者まで運搬し、小学生が下校する14時頃までになるべく収集を終了する業務。 ・不法投棄処理業務は、ふじみ野市内に不法投棄されたごみ等を収集しふじみ野市・三芳町環境センターまで運搬する業務。 ・動物死体処理業務は、のら猫等の死体をふじみ野市内の発見場所まで行ってダンボール等の箱に入れふじみ野市・三芳町環境センターまで運搬する業務。 効果 ・上記の業務を継続的に実施することで、市民の生活環境保全が維持される。

５．今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	家庭系ごみの収集運搬は、市民の生活環境及び衛生上欠かせないものとなっており、令和5年度においても収集運搬中の安全を優先し、確保しながら事業を実施する。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1．事務事業の概要

事務事業名		ふじみ野市・三芳町環境センター管理運営事業	前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05　地球環境・自然環境　～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20　循環型社会　ー資源循環型社会の構築を一層進めますー		
予算費目		一般会計　04衛生費　02清掃費　02塵芥処理費		
所管部課		市民活動推進部　環境課（環境センター）	評価責任者	坂本　心太郎
事務事業期間		平成28年10月31日～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、循環型社会形成推進基本法、ダイオキシン類対策特別措置法等		
事務事業の内容	事務事業の目的	ふじみ野市・三芳町環境センターの適正な管理・運営を図る。 法の趣旨に準拠し安全で適切な業務の遂行を図る。		
	事務事業の経緯	ふじみ野市・三芳町環境センターの供用開始に伴い、関係法令に基づき適正な管理運営を行う。		
	事務事業の概要	ふじみ野市・三芳町環境センターでの24時間焼却業務や分別・破砕等のリサイクル作業業務を行い、適正なごみ処理の運営を行う。 環境学習や施設見学等などを展開し、更なるごみ減量を進める。ごみとして出されたリサイクル家具や自転車の販売を行う。		
	令和5年度の主な取組	モニタリングを通じてふじみ野市・三芳町環境センターの管理運営の確認、指導を行う。 可能な範囲ではあるが、管理・啓発棟での環境学習講座、他市からの視察受入れ対応及び市内の小学校見学対応を実施した。		

2．事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	1.40	1.40
		人件費	3,983	11,093	11,093
	再任用職員	従事人数(人)	0.60	0.40	0.40
		人件費	3,163	2,076	2,076
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.50	0.78	0.78
		人件費	1,336	2,244	2,302
	人件費計		8,482	15,413	15,471
事業費	報酬※		1,319	2,215	2,469
	賃金※		0	0	0
	需用費		329	257	515
	委託料		487,128	481,198	527,374
	使用料及び賃借料		73	95	159
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		27,128	22,633	15,957
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		2,134	1,954	2,161
支出合計			525,257	521,521	561,804
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	203,506	199,526	204,188
		分担金・負担金	37,113	54,813	24,476
		地方債	0	0	0
		基金	31,308	31,788	32,341
		その他	223,710	204,657	126,808
	一般財源		29,620	30,737	173,991
市民１人あたりの負担コスト(単位：円)			260	269	1,482

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。
※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

３．事務事業の指標と実績

指標1	指標名	環境センター運営モニタリング業務		
	説明	ふじみ野市・三芳町環境センターの運営モニタリングを実施し、運営業務内容の確認及び充実を図り、結果を報告		
活動	単位	回		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	12	12	12
	実績値	12	12	
指標2	指標名	環境啓発事業の1月あたりのコマ数		
	説明	管理啓発棟を軸とした環境啓発事業を実施		
活動	単位	コマ		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	2.00	2.00	2.00
	実績値	2.33	2.33	
指標3	指標名	管理啓発棟の1日あたりの来場者数		
	説明	1日あたりの管理啓発棟の来場者数（20日/月で計算） 令和元年度以前の実績値から減少は、新型コロナ感染拡大防止対策のため、エコラボフェスタを中止したこと及び視察等の見学者の減少によるもの。		
成果	単位	人		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	12.00	12.00	12.00
	実績値	11.00	11.40	

４．事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	・運営：平成28年10月31日より（業務はふじみのエコウェルズ㈱に委託） ・職員数：51人（うち、管理部門7人、本部6人、熱回収部門19人、リサイクル部門19人） ・熱回収施設（可燃ごみ焼却施設） 運転期間：年365日、24時間体制 焼却処理1号炉（259日、15,480t）2号炉（265日、15,949t）　2月末まで実施 排ガス監視体制：ＮＯx、ＳＯx、ＣＯ、ＨＣＬ、Hg、ばいじんについて常時測定（国の定める基準より厳しい値で自主管理地を設定）、ダイオキシン類を定期測定 ・リサイクルセンター（資源物等中間処理施設） 内部処理：不燃ごみ　→破砕・選別（焼却、埋め立て、アルミ再資源化、鉄資源化） 容器包装プラスチック　→ストックヤードで保管 容器包装以外プラスチック　→破砕後ストックヤードで保管、積み替え 飲料かん　→磁気選別後、圧縮保管 ペットボトル　→ストックヤードで保管 その他資源　→自己搬入等のごみ選別後については品目ごとに保管） ・管理啓発棟（令和2年3月1日から令和2年6月8日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館） 開館時間：8時30分～17時（火～土曜日） 併設のリサイクル工房は9時～16時 年始1/1～1/3は休館 2階　多目的室1，2，3 3階　研修室 リサイクル工房　：リサイクル家具販売（常設販売）、リサイクル自転車（毎週第3土曜日に抽選）

５．今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	ふじみ野市及び三芳町から発生した燃やすごみの処理（熱回収施設）や、もやさないごみ等の処理（リサイクル工房）を適切に行うことは、市民サービスに直結する業務であるため今後も継続して実施する。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1．事務事業の概要

事務事業名		資源物等運搬処分事業		前年度の方向性 継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05　地球環境・自然環境　～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20　循環型社会　ー資源循環型社会の構築を一層進めますー		
予算費目		一般会計　04衛生費　02清掃費　02塵芥処理費		
所管部課		市民活動推進部　環境課（環境センター）	評価責任者	坂本　心太郎
事務事業期間		平成28年10月31日～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、家電リサイクル法、容器包装リサイクル法、資源有効利用促進法、ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	一般廃棄物処理基本計画に従って、区域内の一般廃棄物を適正に処理する。		
	事務事業の経緯	一般廃棄物収集運搬、資源物処理、運搬、不燃物処分に伴う業務を行っている。 法令に基づき、適正な業務の執行が義務づけられている。		
	事務事業の概要	資源物の再資源化及び不燃物の処理を行う。		
	令和5年度の主な取組	資源物の再資源化及び不燃物の処理にかかる事務手続（契約事務、データ処理、月々の支払・請求及び事業者との調整など）を行った。また事務委託している事業者への現地視察を実施した。		

2．事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.80	0.80
		人件費	1,593	6,339	6,339
	再任用職員	従事人数(人)	0.70	0.40	0.40
		人件費	3,690	2,076	2,076
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		5,283	8,415	8,415
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		476	473	483
	委託料		285,623	275,381	332,640
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		65	67	383
支出合計			291,447	284,336	341,921
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	76,091	136,606	136,663
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		215,356	147,730	205,258
市民１人あたりの負担コスト(単位：円)			1,887	1,294	1,749

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。
※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

３．事務事業の指標と実績

指標1	指標名	事故件数		
	説明	作業時における事故等を未然に防ぐとともに、事故等がないように点検を怠らず管理する。		
活動	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	1	
指標2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			
指標3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値			
	実績値			

４．事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和5年度　資源物等運搬処処分事業の実績 ・容器包装プラスチック、びん類の処分を容器包装リサイクル協会へ委託する手続きを行った。また容プラ保管事業者については、前年評価結果を基に選定した。 ・処分事業者については、実際に処分場に赴いて現地確認を行い、処理状況の把握や現状の聞き取りを行った。 業務委託先 ・焼却灰リサイクル業務　太平洋セメント㈱、メルテック株式会社 ・ばいじんリサイクル業務　太平洋セメント㈱、メルテック株式会社 ・ばいじん運搬業務　新井運送㈱、メルテック株式会社 ・焼却残渣運搬・処分業務　ジークライト㈱ ・ばいじん運搬・処分業務　ジークライト㈱、メルテック株式会社 ・容器包装プラスチック類ベール化処理業務　㈲太盛 ・容器包装プラスチック類ベール化処理業務　㈱スガワラ ・容器包装以外プラスチックリサイクル処理業務　㈲スガワラ、㈱関商店、サンエコサーマル㈱ ・びん類選別等業務委託　ふじみ野市リサイクル協同組合 ・不燃物（ガラス・せともの等）運搬業務　㈱協和清掃運輸 ・不燃物（ガラス・せともの等）処理業務　埼玉県環境整備センター ・廃蛍光管運搬・処理・再生業務委託　㈱ウム・ヴェルト・ジャパン ・廃タイヤ運搬・処理・再生業務委託　㈱国分商会 ・廃乾電池運搬・処理・再生業務委託　野村興産㈱ 効果 　ふじみ野市内及び三芳町内から発生した資源物等の適正処理の確認と目標としているリサイクル率を達成した。

５．今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	資源物等は委託業者が適正な処理を行っているか適正確認を行う。 もやすごみについては、ふじみ野市・三芳町環境センター熱回収施設で焼却処理され、主灰と飛灰及び焼却残渣（磁選物、不適物）になっている。 主灰と飛灰については、太平洋セメント熊谷工場でリサイクル（セメントの原料）及びメルテック株式会社で路面材に利用されており、最終処分（埋立）するのではなく、今後についてもリサイクル（セメントも原料及び道路の路面材）となるように継続して委託する。 焼却残渣（磁選物、不適物）については、県外の民間最終処分場に埋立処分をしており、少なくても年1回は現地確認を行う。 また、委託先の評価を行い、適正処理可能業者の中から費用対効果の高い業者等を選定する。
中長期的方向性	
継続	

令和5年度事務事業評価シート

1．事務事業の概要

事務事業名		旧上福岡清掃センター跡地管理事務	前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05　地球環境・自然環境　～豊かな水と緑が調和したまち～		
	施策	20　循環型社会　ー資源循環型社会の構築を一層進めますー		
予算費目		一般会計　04衛生費　02清掃費　02塵芥処理費		
所管部課		市民活動推進部　環境課（環境センター）	評価責任者	坂本　心太郎
事務事業期間		平成31年4月1日～	評価日	令和6年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	保管庫（1棟）と雨水流出抑制施設の適正管理。		
	事務事業の経緯	旧上福岡清掃センター解体後の跡地の有効利用に伴い、駐車場（70台）及び保管庫（1棟）と雨水流出抑制施設を設置し維持管理を行っていく。		
	事務事業の概要	・雨水流出抑制施設の排水ポンプや貯留槽の維持管理を行う。 ・雨水貯留槽の水質検査を行う。 ・環境センター第2駐車場等の維持管理を行う。 ・樹木剪定を行い当該地の維持管理を行う。		
	令和5年度の主な取組	・雨水流出抑制施設の排水ポンプ等の点検及び清掃を実施した。 ・雨水貯留槽の水質検査を実施した。 ・消防設備保守点検を実施した。 ・場内の除草作業を実施した。 ・場内の樹木剪定作業を実施した。		

2．事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】			令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.10	0.30	0.70
		人件費	797	2,377	5,547
	再任用職員	従事人数(人)	0.60	0.10	0.10
		人件費	3,163	519	519
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		3,960	2,896	6,066
事業費	報酬※		0	0	0
	賃金※		0	0	0
	需用費		419	386	536
	委託料		3,172	0	0
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費※		222	212	250
支出合計			7,773	3,494	6,852
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		7,773	3,494	6,852
市民１人あたりの負担コスト(単位：円)			68	31	58

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。
※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

３．事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	雨水流出抑制施設の適正管理		
	説明	雨水流出抑制施設の排水ポンプを、確実に運用するために点検を行う。		
活動	単位	回		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名	雨水貯留槽の安全管理のため貯留水の水質検査を行う。		
	説明	雨水貯留槽の安全管理のため水質検査を行う。		
活動	単位	回		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 3	指標名	事故件数		
	説明	環境センター第2駐車場内での車両事故件数 0（ゼロ）件。		
成果	単位	件		
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	

４．事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	・貯水槽水質検査業務委託（重金属溶出試験等）　令和5年9月27日サンプリング 受託者　エヌエス環境㈱東京支社 ・雨水貯留槽清掃等業務委託（令和5年12月7日実施） 受託者　㈱協和清掃運輸 ・ポンプ設備点検・清掃業務委託（1号引揚げ・・・令和5年11月30日） （1号据付け・・・令和5年11月30日） （2号引揚げ・・・令和5年11月30日） （2号据付け・・・令和5年11月30日） 受託者　㈱鶴見製作所 ・消防設備保守点検業務（1回目・・・令和5年6月15日、2回目・・・令和5年12月12日実施） 受託者　㈲協同防災設備 ・場内除草清掃等業務（1回目・・・令和5年7月10日～令和5年7月18日） （2回目・・・令和5年10月9日～令和5年10月11日） 受託者　㈱協和清掃運輸　ふじみ野支社 ・樹木剪定業務（令和5年4月18日～令和5年4月19日） 受託者　㈱植政造園

５．今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	雨水流失抑制施設の雨水は福岡江川に排出されることから、施設の維持管理と排水抑制について、適正な状態を維持していく。
中長期的方向性	
継続	